病院名	盛岡赤十字病院
研修プログラム名	血液内科

一覧表に戻る

研修目標と実施計画

【研修目的】

臨床血液病学、臨床腫瘍学を中心としたプログラムである。臨床血液学はおおきく良性疾患（貧血、出血傾向）と悪性疾患（白血病、リンパ腫、骨髄腫）に大別される。良性疾患においては系統的な思考を要求され、悪性疾患の治療においては、全身管理の善し悪しが治療結果を左右するため、いずれにしても内科を含めた総合的臨床力が育成される。当科は東北地方で最大の病床数をもち、岩手医大血液・腫瘍内科と協力して岩手県内の血液疾患の診療を行っている。そのため多彩な症例を経験し、実践的な理解を得られる。

【研修目標】

血液疾患の診断と初期治療ができる。
化学療法施行時の全身管理ができる。

【行動目標】

（1） 問診と理学所見から異常所見の抽出ができる。
（2） 異常所見を総合的に解釈し、鑑別診断のリスト作成と検査計画の立案。
（3） 診断の確定とEBMに基づいた治療方針の決定。
（4） 輸血による効果と副作用の理解。
（5） 個々の患者および家族に応じた説明と対応

【研修内容】

（1）入院化学療法中の患者の診療と管理。
（2）新患の受け持ちと緊急治療計画の立案。

【週間予定表】

	月	火	水	木	金	土
午前	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診
午後	病棟回診	骨髄穿刺等手技	病棟回診	病棟回診	病棟回診	

【その他】

学会発表：興味のある研修医は学会に参加あるいは発表する（日本血液学会、米国血液学会）。内科学会専門医：試験に必要な症例報告（血液領域）の作成を行う。血液内科専門医：カリキュラムの履修および症例経験、症例報告の作成。日本がん治療認定機構認定医：症例リストの作成。